

”読む”算数の学習を！

2023. 3. 14 (火)

数学の入試問題を見てみよう！

小学生のお子様をおもちのお父さん、お母さん！
お近くの書店にお出かけの際に、
学参売り場で、数学の入試問題集（過去問集）をのぞいてみて下さい。
数学の問題なのに、国語の読解問題のような長い問題があることに気づくと思います。
ちなみに、最近の出題問題の日本語の行数を調べてみました。

* 高校入試の場合

山形県公立高校入試問題（1次関数の問題の場合）

令和5年度入試	18行（1行45文字）	これは「山形新聞」に掲載されたものです。
令和4年度入試	15行（1行43文字）	これは東京学参版に掲載されたものです。
令和3年度入試	18行（1行43文字）	これは東京学参版に掲載されたものです。
令和2年度入試	21行（1行43文字）	これは東京学参版に掲載されたものです。

これがどの位の量なのかといいますと、
中学数学の教科書の「1次関数」の単元の2ページ分に相等します。（目分量ですが…）

* 大学入試の場合

大学入学・共通テスト

2022年度入試	数学I・A 第3問	確率の問題です。
	33行（1行36文字）	これは駿台文庫版に掲載されたものです。
		駿台文庫版（B5判）では2ページ分です。
2021年度入試	数学I・A 第3問	確率の問題です。
	44行（1行36文字）	これは駿台文庫版に掲載されたものです。
		駿台文庫版（B5判）では3ページ分です。

問題を解く前に内容を読み取らなければならない！

まず、何が書いてあるのかを読み取ることから始めなければなりません。
共通テストの場合でいえば、
B5判のプリントの2ページとか3ページの内容を読みとらなければなりません。
これは1題分です。1題！
問題は全部で4題あります。
試験の時間は70分です。

問題文を読み取ることにかけていると、問題を考える時間がなくなります。
わかっても点がとれません。

共通テストというのは何点とったかで偏差値がきまり、それによって受験できる大学が決まりますから、1点でも多く得点しなければなりません。

速読の力も学力の必須のファクターとなります。

速読の訓練はしていますか？

速読の訓練は早ければ早いほど効果が出るに決まっています。

小学生から速読の教室があるのはそのためです。

速読の訓練は、

国語の問題を使って読解力を高めることは、それはそれとして重要なことです。

しかし、算数の長い文章問題を解く練習をすることもまた重要なことです。

しかし、しかし…

教科書を見てください。市販の参考書を見てください。塾のプリントを見てください。

算数の長い文章問題はありますか？

まず、ないですね。

小難しい問題は多く載っていますが、長い文章題はありません。

1ページ全部で1つの問題の文章題などみたことはありません。

これはまずいですねえ。

では、どんな問題を学習すればいいのか？

数専ゼミで使っている教材を紹介しましょう。

6年「比例と反比例」の教材です。 → [Link](#) (No. 2 5 反比例(1) 速さの問題)

→ [Link](#) (No. 2 6 反比例(2) 仕事の問題)

数専ゼミでは、このように、長い文章を読みながら問題を解いていく訓練をしています。

将来の高校入試、大学入試の数学の問題にそなえて…

速読算数に強くなる数専ゼミの算数指導

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: (023)633-1086 / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp